

## 平成22年度事務事業評価シート(平成21年度分)

予算科目	会計	一般会計	001	款	10	項	05	目	06
事務事業名	国指定名勝池田氏庭園 維持管理事業								
担当部署	教育委員会文化財保護課	2208000	電話	0187-63-8972				内線	

## ◆事務事業の位置づけ

総合計画の体系	施策の柱	未来を創り心豊かな人を育むまちづくり
	施策の大綱	芸術文化の振興
	施策	文化財の保護保全・整備と活用
	施策の内容	文化財の整備と活用
根拠法令等	文化財保護法	

## ◆計画Plan

事業の目的 (何のためにこの事業を行うのか)	国指定名勝池田氏庭園の環境整備と公開活用の推進により文化財保護についての普及啓蒙と保護意識を高め、国民的財産である国指定名勝の保存を図る。
事業の対象 (事業の対象となる人、物など)	公開活用上また名勝庭園利用上の対象となる国民、市民
事業の内容 (具体的にどのような活動をするのか)	①名勝庭園(本家庭園・払田分家庭園)の維持管理、池田家旧宅の維持管理、駐車スペース確保、トイレ等の便益設備仮設と清掃維持管理ほか ②池田家顕彰会をはじめとする市民団体との協働による公開活用、普及啓蒙活動の推進
事業の成果 (どのような成果を期待するのか)	工事安全上、通常公開が困難であるが、期日を定め特別公開を実施。随時視察を含め現状で年間1万人程度を受け入れている(天候により大きく増減)。公開活用により文化財保護行政に対する理解を深めていただく機会となっていると考えられ、また近い将来において秋田県を代表する文化的観光の拠点施設となることが期待される。

## ◆実施Do

項目	名称	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度
活動結果 (事業の活動量を測る)	① 維持管理作業委託件数(造園業者)	件数(業者数)	1	1	1
	② 維持管理作業委託件数(シルバー人材)		1	1	1
	③				
成果 (事業の成果を測る)	① 特別公開開催数	日	6	4	5
	② 来園者数(特別公開・随時公開計)	人	10,300	8,700	10,960
	③				
投入コスト	決算額		3,153千円	5,264千円	5,007千円
		一般財源	3,153千円	5,264千円	5,007千円
			2,327千円	2,327千円	2,309千円
	人件費	一般職員の年間従事人数	0.2人	0.2人	0.2人
		一般職員以外の年間従事人数	0.5人	0.5人	0.5人
	総コスト	(決算額+人件費)	5,480千円	7,591千円	7,316千円

事業を取り巻く環境	<p>①公開要望が県内外から多数寄せられているが、現在、年次計画に基づく修復工事中であり工事現場安全管理上、常時の一般公開は不可能である。</p> <p>②そのため期日を定め年数回の特別公開を活用支援市民団体である池田家顕彰会との市民協働で実施。随時視察を含め現状で年間1万人程度の来園がある。</p> <p>③今後も名勝庭園の保護保全を最優先に、整備及び活用の推進を図り、公開活用の機会拡大、生涯学習及び文化的観光の振興につなげることが各方面から強く求められている。</p>
-----------	--

## ◆評価Check

評価項目		評価	
必要性	①【市民ニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていませんか	A 薄れていない B 薄れている	A
	②【市が実施する必要性】 市が実施主体となってこの事業を行うことは妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	③【計画上の位置づけ】 事業の目的を達成するための手段として妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	評価の理由	国指定名勝の保存・整備・活用上必要性の高い事業である。	
有効性	①【成果】 活動結果に対し事業の成果は順調に上がっていますか	A 上がっている B 上がっていない	A
	②【活動内容見直しの余地】 事業の成果をさらに向上させるため、事業内容に見直しの余地がありますか	A 余地はない B 余地はある	A
	評価の理由	国指定名勝の保存・整備・活用上有効性の高い事業である。	
効率性	①【民間の活用】 指定管理者制度を含む民間委託等により、コスト削減できませんか	A できない B できる C 指定管理導入中	A
	②【他事業との統合・連携】 他の類似事業との整理統合や、関連事業との連携は可能ですか	A できない B 可能である	A
	③【人件費の圧縮】 適正な人員配置(従事職員数、臨時雇用等)により、人件費を削減できますか	A 削減できない B 削減できる	A
	④【コストの縮減】 上記以外の方法で、事業の成果を維持しながらコストの削減、またはコストを増加させずに事業の成果を上げることはできませんか	A できない B できる	A
	評価の理由	現在の事務量等考慮し効率的である。	

## ◆改善Action

総合評価 (今後の方向性)	評価の理由 今後の改善策等(いつ、何を、どのように)	
現状	A 現状のまま継続	①平成20年度に池田家の指定地外へ移転が行われ、池田家よりの庭園の寄贈とあわせ庭園敷地の大部分が市有化されたことから、庭園、旧宅等の管理活用事業について市により今後も適切に事業継続を行う。 ②洋館修復工事が平成22年10月で完成を迎えるが、建物の保存を最優先に一般公開の方法について今後十分に検討を行う必要がある。 ③常時一般公開に対応するためのトイレや管理施設が未設置であり、今後の米蔵の修復に合わせ便益施設整備を進める年次計画であるが数年間の期間が必要である。(便益施設の整備工事期間中の公開要望に対しては、これまで同様、工事現場の安全管理に配慮し、特別公開等の随時公開により対応を図る)
	B 改善しながら継続	
	C 拡大	
	D 縮小	
	E 廃止	